

子どもの権利の実現に向けて

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
代表 中島早苗

広げよう!子どもの権利条約 キャンペーン

日本で子どもの権利条約がきちんと守られるようにして
いくために、15団体が集まって2019年4月に発足。
フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは実行委員団体の1つ。
キャンペーンの活動の柱は以下の3つ

広報・啓発

すべての子どもが守られるように、子どもたちにもおとなにも、子どもの権利条約について広く知ってもらおう。

ネットワーク

子どもの権利条約を広げるための活動をしてきた団体や個人がつながり、力を合わせられるようにしていく。

政策提言

全国や地域で子どもの権利を守っていくためにどんなことをしなければならぬか、子どもや市民の声を届けて働きかけていく。

2021年4月22日 院内集会

子ども基本法制定に向けた、国会議員や省庁関係者への院内集会を子どもとともに実施



©広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

2021年6月15日 子どもと国会議員との意見交換会の実施



©広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

内閣官房子ども家庭庁設置法案等準備室主催 野田大臣と子どもとの意見交換会 2022年1月12日



子ども・若者から声を聴いた機会

- 大阪の高校に通う生徒さんからの声（2021年4月～8月）
- イベントを通じた子どもからの声（2021年4月～2022年3月）
 - FTCJ主催オンラインイベント
 - 広げよう!子どもの権利条約キャンペーン主催イベント
 - 日本財団、日本ユニセフ協会主催オンラインイベント
 - 子どもの権利条約フォーラムinかわさき
 - 毎日新聞・毎日メディアカフェ主催イベント
 - 内閣官房こども家庭庁設置法案等準備室主催イベント
 - 国会議員（公明・社民・立憲民主党）との対話
 - 世田谷区主催イベント
- 子どもへのアンケート（2022年3月～ 4月）
延べ人数：248人

子ども・若者から良く聞かれた声

- 子どもの権利を子どものうちに教えて欲しい。
- 子どもに関わるおとな、特に、親、先生、児童養護施設、青少年団体等の職員が子どもの権利の内容や子どもの権利を基本とした子どもへの接し方が学べるようにしてほしい。
- 子どもが相談しやすい体制やツールを増やしてほしい。そのとき必ず秘密を必ず守ってほしい。(専門家の配置、オン・オフライン様々な媒体を通じて相談できる仕組み)
- 個々が尊重される学校運営や授業をおこなってほしい。
- 生きていくために役に立つ授業をしてほしい。(暴力や虐待から身を守るための教育、性に関する教育、アプリの使い方、ネットリテラシー、メディアリテラシー、クリティカルシンキングの習得など)
- インクルーシブ教育の実践をしてほしい。

子ども・若者から良く聞かれた声

- 通学の安全を守るための体制づくりをしてほしい（通学路でのおとなの見守り、痴漢や不審者対策、満員電車回避など）
- 学校以外の場所で学ぶ子どもの権利擁護と、フリースクールへの支援体制を強化してほしい。不登校という言葉の使用をなくす。
- 公園で禁止事項が多すぎる。子どもが楽しく安心して遊べる公園（プレーパーク含め）をもっと増やしてほしい。
- 児童養護施設で暮らす子どもへの経済的自立支援を増やしてほしい。
- 外国にルーツのある子どもへの教育支援をしてほしい。
- 経済的な課題を抱える家庭の子どもへの教育支援を増やしてほしい。（教育格差をなくしてほしい）
- 大学の無償化など、大学で学びたい人が誰でも学べるようにしてほしい。海外の大学で学ぶための教育支援を増やしてほしい。